

三中だより

令和6年度第3号

令和6年6月6日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

大田区中央4-12-8

5月25日(土)、運動会を予定通り実施いたしました。当日は夏を予感させる晴天に恵まれ、順調に競技を進めることができました。長距離や100m走などの個人種目では、出場する生徒は自分の競技に全力で取り組みました。それを見ている生徒たちは、大きな声で応援していました。競技に取り組む選手と一体となって応援する生徒の姿から、クラスみんなで頑張っているという様子を感じることができました。すべての競技で、どの選手も全力を出し切り、スローガンの～一人ひとりが主役～の通り、会場一体となって盛り上がることができました。

この運動会にむけて、生徒たちはさまざまな場面でたくさんの準備に取り組みました。そうした努力の集大成が、運動会当日の一人ひとりの輝く姿に表れていました。運動会での頑張りはとても大切ですが、その結果にとらわれることなく、そこまでの過程にも目を向けてほしいと思います。進級して2か月という短い期間ですが、運動会までの期間での一人ひとりの成長は大きいものだったと思います。新たな集団として出会ってから、運動会を目指して取り組んできたことで、互いが尊重しあい、気持ちを通じさせることができました。この2か月でしっかり準備することで、大きな成長を遂げることができたのです。次の行

事にむけて、きっとさらに大きな成長ができることでしょう。「Before everything else, getting ready is the secret of success.」(成功の秘訣は、何よりも先ずは準備すること。)今日の運動会では、このことばがまさに実感できた一日となりました。

さて、本年度の運動会では、保護者の方、地域の方に学校へ足を運んでいただき、多数のご参観をいただくことができました。生徒たちの運動会に一生懸命に取り組む姿をご覧いただき、励ましのお声を掛けいただきました。進級や入学から2か月という時間を経た生徒たちの成長を感じ取っていただけたことと存じます。また、当日はPTAやおやじたちの集い、学校運営協議会のみなさまには、受付や誘導など、多大なお力を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。こうしたお力添えをいただき、多くのみなさまに見守られ支えていただき、大森第三中学校は教育活動を進めさせていただけております。次のステップを見据えて、一つひとつ、全力で取り組んでまいります。これからもご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

スクールカウンセラー出勤予定日

	6/4(火)、6/11(火)、6/25(火)
	6/5(水)、6/12(水)、6/19(水)、6/26(水)
	6/3(月)、6/10(月)、6/17(月)、6/24(月)

※大森三中 相談室直通電話(3773)7831



運動会では、生徒はみんな全力で取り組み、大きく成長しました。

6月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
		⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 定期健康診断 終 ⑤⑥セブティ(教室全)		校内研修会 清掃チマク第2回		図書委員会朝読プロジェクト 始			復習 確認テスト(3)①②③④⑤	第1回定期考査(社会・理科・美術)給食あり 保護者引取訓練(13:50)	第1回定期考査英語・国語・音楽給食なし	第1回定期考査数学・保健・技家給食なし		春日神社祭礼	春日神社祭礼	①②③④⑤ 職員会議		①②③④ 給食有 清掃チマク第2回 区教研 小中一貫教育の会		安全指導		土曜補習(第2回)	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 生命尊重週間 終 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 生命尊重週間 始(6月7日) 体力テスト 始(6月28日)	耳鼻科検診(3年)13:30 専門委員会(15:00)	⑤道徳授業地区公開講座 協議会(15:10) 歯科検診(1年 午前 清潔チマク第1回 中央委員会(16:00)	生命尊重週間 終 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 生命尊重週間 始(6月7日) 体力テスト 始(6月28日)			

運動会で印象に残っていること

1 年

私が運動会で印象に残っていることは、自分が走るときの、クラスのみんなの様子です。100m走を走るとき、私は3レースの5コースです。だから、生徒席のみんなの声がよく聞こえました。自分が走る順番が来たとき、私はものすごく緊張しました。生徒席からも「がんばれ!!」などと声が聞こえてきました。バンと音になり、走り始めました。私は運動が全く得意ではありません。最初こそ一位だったもののだんだんと追い抜かされて、差が開いてしまいました。「やばい、やばい」「一位にならなきゃ」と何度も思って走っていましたが、それは叶うことはありませんでした。終わったあと、私は「最下位だ、みんながガチでやっているのに申し訳ないな」と思いました。他のレースの子の結果は最下位ではなく、私は責められているような気分になってしまいました。

100m走が終わって席に戻ったら驚きました。私の結果に誰一人文句を言う人がいなかったばかりか、みんなが「がんばったね」と声をかけてくれました。学級対抗全員リレーでもバトンパスを失敗したり、抜かせなかったりだったのに、責めずに次々と走る走者を応援していました。出前一丁でも「もっと早く走って!!」「遅いよ!!」という人は一人もいないばかりか、他クラスの選手を応援している人も、たくさんいました。運動会では、みんな本当に一生懸命がんばっているうえに、私のように運動が得意ではない人に優しく接してくれていて、とても気持ちが楽になりました。2年生や3年生になったら、もっとクラスで協力することも増えてくると思います。そのときにも一生懸命がんばりたいと思いました。

「運動会」を振り返って

2 年

私が今年の運動会で印象に残っていることは、学年種目である「大縄跳び」です。3組は最初の大縄の練習で良い記録を出し、みんな大喜びでした。大縄の練習の始めた頃の頃はだんだんと記録を更新し、クラスの雰囲気も良い感じでした。しかし、運動会2週間前くらいから思うように記録が伸びず、焦りからクラスで意見がぶつかり合うようになりました。一人ひとりが意見をもっていることは良いことだと思いますが、意見がまとまらずに仲間割れという状況になってしまいました。そこで、私はクラスのみんなで声を出すのはどうだろうかと提案しました。具体的に体育委員が「いくぞ!!」と言って、その後に続いて2年3組全員で「3組せーの!」という方法です。練習でこの方法を実践してみると、縄の回す人に声が届き、クラスの団結力も高まり17回連続して跳ぶこと

ができました。

そして5月25日運動会当日。緊張感が漂うなか、つい学年種目である大縄跳びの順番がきました。競技が始まる前に円陣を組み、クラスが団結した状態で競技に取り組むことができました。競技開始のホイッスルと共に縄を回し始めました。クラスの心が一つになって、一番最初に3組の最高記録を大いに上回る30回という記録を出しました。みんな大喜びで私もとても嬉しかったです。その後も気を緩めずに30回以上跳ぼうと団結して競技に臨みました。今年の運動会を通してクラスの団結力が高まったので、今日学んだことを生かして、これからの学級生活を送っていきたいです。

過去一の運動会

3 年

僕は、今年の運動会が今までに一番楽しかったです。三年生で中学校生活最後だったこともあり、クラス内でも、勝っても負けても、終始笑顔で終わることができました。楽しかったのは、そのことと大きく関わっていると思います。そのほかにも、楽しいと思った出来事がたくさんありました。

一番関係しているのは、実行委員長になったことです。三年生で、仕事が少し増えただけでなく、学年練習や、予行練習でみんなの前で話す機会もできて、忙しくなりました。しかし、とてもやりがいがあり、自分たちで運動会を動かしているという実感が湧きました。そうしたことから、昨年までよりも楽しく、責任感がありました。そして、次第に仲間たちとも、よりよい運動会にするためにと動くようになってきました。そうすると、周りも一緒に楽しんでいるのを感じられて、とてもうれしかったです。

練習では、先生主体だったものから、生徒主体に変わりました。今までは先生が練習することを決めていたのに対して、今年は自分たちで練習を決められるようになりました。そうすると、クラスの中で話し合う時間が増えて、クラスのみんなの一体感が感じられました。

このクラスだったからこそ、今回の運動会が楽しく感じられた理由の一つでもあります。練習でミスがあっても、その人を責めずに、一緒に改善点を考え、次に活かせるようになりました。たとえ、練習で他のクラスに負けても、暗い雰囲気をもちこまず、すぐに切り替えて明るく笑いあえました。本番もみんなが明るく、励まし合うことができました。

これらの理由で今回の運動会が、人生で一番楽しい運動会になりました。できることならば、もう一度やってみたいと思える運動会になり、すごくうれしかったです。